

平成29年度事業計画について

I. 事業方針

K-RIPの方向性

九州地域の環境・エネルギー関連企業が、産業競争力を維持・強化していくためには、時代のニーズを的確にキャッチし、成長可能性が高い産業との融合や海外市場への参入を視野に入れて新しいビジネスの創出を引き続き図ることが重要である。K-RIPは、九州地域に蓄積されてきた環境・エネルギー産業関連技術やノウハウを活かし、新事業等の創出を行うことで、九州地域を世界に通用する競争力を有した環境・エネルギー産業の先導的地域とすることを目指す。

1. 平成29年度事業方針

K-RIPの平成29年度の事業活動は、昨年「九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ」と「九州ソーラー&クリーンエネルギーネットワーク」が統合されたことで、これまで両機関が蓄積してきたネットワークの構築、産業支援のノウハウ強化を一体化し、更なるシナジー効果を生み出していく。

具体的には、以下の3本柱に取り組むことで、プロジェクトの推進、環境・エネルギー産業の競争力強化を図り、地域活性化、新産業創出、海外展開、雇用拡大に貢献する。

<低炭素社会への対応に向けた産業の競争力強化>

平成27年7月に決定された「エネルギーミックス」、同年12月に合意された「パリ協定」の合意に基づき、我が国においては、徹底した省エネの実現、再エネの最大限の導入を図るための政策として、平成28年4月に「エネルギー革新戦略」が策定され、省エネや再エネをはじめとする分野の関連制度を一体的に整備しているところ。

K-RIPとしても、このような時代の流れをリードしていくため、環境・リサイクル産業とエネルギー産業の融合を図り、新たなビジネス創出に取り組む。

<地域の雇用創出に貢献する事業展開>

地域固有の資源・魅力を活用し、地域経済を活性化するため地域を牽引する企業の創出のためには、地域の特性を活かした成長性の高い新たな分野に挑戦する取組も必要。

K-RIPとしても、企業の創出・更なる成長、関連プロジェクトの組成を支援することで、地域における稼ぐ力、地域雇用機会の拡大に貢献し、環境・エネルギー産業の裾野拡大を図る。

<ASEAN等海外市場への積極的な事業展開>

国内の人口減少、グローバル化等の流れがある一方で、目覚ましい成長を続けている ASEAN 等では、工業化に伴い、我が国が 1960 年代に経験したような環境問題等が発している。K-RIP としては、九州の産学官が保有している技術力・ノウハウ・経験を活かし、ASEAN 等市場の拡大に向けた海外展開を支援する。

(2) 平成 29 年度の重点事業

①エネルギー産業との融合、新分野進出・広域連携の取組強化

全体の事業を通して、環境・リサイクル関連産業に加え、再生可能エネルギー等のエネルギー関連産業を取り込んだ活動を行い、相乗効果を図る。

また、新市場開拓や既存商品の用途開発などを目的としたプロジェクト研究会を開催するとともに、異分野の展示会への出展支援等を行うことで、会員企業の新分野進出を支援する。加えて、エコ塾等の九州ワイドでの開催など広域連携の強化を図る。

②海外ビジネス展開の深化

ASEAN、東アジア地域への積極的な経済交流により、具体的な案件組成を図るとともに、新規案件の発掘や組成につなげることを目的に、海外における政策や市場動向に精通した産業支援機関やビジネスコーディネーターなどによるセミナー等を開催し、企業間交流及びネットワークの拡大を図る。

③情報発信機能の強化

国のエネルギー政策や関連法令、環境エネルギー関連市場等の最新動向並びに、新技術・新商品紹介に関するタイムリーな情報を正会員限定でメルマガ配信するとともに、環境エネルギー分野の実務に直結した情報を解説する正会員向けのセミナーを開催する。

| 部会名 | 平成29年度事業 |
|-----------------|---|
| 情報・交流部会 | ① 情報発信の強化（一部 K-RIP 会費予算） (i) 公式 HP リニューアル (新規) (ii) 正会員限定メルマガ配信 (新規) (iii) 正会員向けセミナー開催 (新規) ② 異業種ネットワーク構築事業（一部 K-RIP 会費予算） (i) エコ塾・再生可能エネルギーセミナー開催 (九州各地で開催) |
| ビジネス創出部会 | ③ ビジスマッチング交流会事業 (i) 展示会出展支援 (新規展示会への出展) (ii) 環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー開催 ④ K-RIP プロジェクト（K-RIP 会費予算） ⑤ 個別プロジェクト支援 (i) プロジェクト研究会開催 (新規) (ii) 専門家派遣事業等による個別支援 (iii) 一次産業分野課題解決調査等 |
| 国際ビジネス部会 | ⑥ ASEAN 等環境産業交流事業 (i) 海外視察団の受入等による海外に向けた技術力発信強化 (ii) ASEAN 等環境プロジェクト調査チーム・ミッション団派遣 ⑦ アジア環境エネルギービジネスセミナー開催 (新規) ⑧ 個別プロジェクト支援 (i) 専門家派遣事業等による個別支援 |

※ 事業活動は、K-RIP 会員の「会費」、経済産業省の平成29年度「地域中核企業創出・支援事業（委託費）」を効率的かつ効果的に活用し、事業推進を図る。

Ⅱ. 個別事業計画

1. 情報・交流部会

(1) 情報発信の強化

① 公式HPリニューアル

② 正会員限定メルマガ配信

③ 正会員向けセミナー開催

環境・エネルギービジネスの創出・事業化プロジェクト組成、新分野進出に繋がる各種事業を展開するため、九州地域内外の自治体・産業支援機関等との連携を強化する。また、関係する国の施策等の有益な情報や、法令・市場ニーズ等の最新動向を正会員限定のメールマガジンで配信するとともに、環境エネルギー分野の実務に直結した情報を解説する正会員向けセミナーを開催する。

(2) 異業種ネットワーク構築事業

① エコ塾・再生可能エネルギーセミナー開催

環境・エネルギー産業の新分野進出、異業種との連携・ネットワーク形成等を目的として、企業や研究者による自社製品・技術・サービス・ビジネスモデル等のプレゼンを行う異業種交流会「エコ塾」を定期的に開催する。

平成29年度は交流の場を拡大するために、環境・エネルギー分野に積極的に取り組む自治体や金融機関等と連携した「エコ塾キャラバン」を九州各県で複数回開催し、現地視察等を併せて実施することで、環境・エネルギー分野の知見を深める取組を行う。

○概要：2～3社程度のプレゼンテーション

○場所：福岡市内（福岡合同庁舎会議室等）、九州各県（6回程度）

2. ビジネス創出部会

(1) ビジネスマッチング交流会事業

① 展示会出展支援

環境・エネルギー関連企業のビジネスパートナーや新規ユーザーを発掘し、新分野進出を支援するため、九州内外の大型環境見本市等の機会を活用した技術シーズの発信・個別商談会を開催する。とくに、一次産業分野など、異業種の展示会にも出展を行うことで、企業の異分野進出を促進する。

○開催時期、場所：

- ・北九州市「エコテクノ 2017」（平成 29 年 10 月 11 日～13 日）
- ・滋賀県長浜市「びわ湖環境ビジネスメッセ 2017」（平成 29 年 10 月 18 日～20 日）
- ・千葉県千葉市「農業ワールド 2017」（平成 29 年 10 月 11 日～13 日）（新規）

○出展支援社数：3 社程度/各展示会（予定）

② 環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー

環境・エネルギー関連企業の九州域内で不足するリソースを補完するため、他地域の支援機関とのネットワークを活用し、九州域外の企業との個別商談会等を行う「環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー」を実施する。

平成 29 年度は、これまで連携を図ってきた関東、近畿、沖縄地域を対象とする。

③ K-RIP プロジェクト

環境・エネルギー関連産業の振興や新事業を創出するため、会員企業から①可能性調査事業、②製品開発事業、③既存製品改良事業、④その他事業、について公募を行い、一部資金の助成や法務・経営・技術など個別の相談に対応できる専門家の派遣を行う。

④ 個別プロジェクト支援

(i) プロジェクト研究会の開催

収集した企業の技術シーズ・ニーズ情報等に基づき、実際に製品・技術等を開発・販売する企業や提携先企業、専門家等と技術課題、製品開発・事業化のプロセスやターゲット市場の明確化、海外案件組成等について検討を行い、新事業創出、新分野進出、海外展開を具体化する。

(ii) 専門家派遣事業等による個別支援

外部資金（技術開発補助金、F/S 調査、設備投資支援事業、海外展開関係補助金、JICA・JETRO 事業等）を活用したサポートを行うとともに、技術開発、海外展開、法律、知財、経営、金融、マーケティング等の相談に対応する専門家と提携し、企業の課題や相談に応じて適切な支援を行う。

また、必要に応じてターゲット分野の専門家や関係する支援機関のコーディネーター等と

提携し、不足リソースの補完やパートナー企業の発掘等を支援する。

これらの取組により、K-RIP から地域の中核となりうる企業（候補）を連鎖的に創出する。

(iii) 一次産業分野課題解決調査等

一次産業分野における課題解決に向けた調査を行うことで、新たな連携先企業の発掘を進めるとともに、新たな新規プロジェクトの「芽」を掘り起こし、今後の支援に向けたプロジェクト組成に向けた検討を行う。

3. 国際ビジネス部会

(1) ASEAN 等環境産業交流事業

① 海外視察団の受入等による海外に向けた技術力発信強化

近年、九州の環境・エネルギー産業の取組にかかる海外からの視察団や商談申込みが増加しているが、視察団受入にあたっては、相手方のニーズを事前に把握し、シーズ・ニーズ調査等の蓄積を基に視察先企業の選定や技術提案を効果的に行うことで、企業の海外展開に向けたビジネスチャンスを実に獲得する。

○時期：未定

○参加者：ASEAN 等進出を志向する企業等

② ASEAN等環境プロジェクト調査チーム・ミッション団派遣

ASEAN等地域へ環境・エネルギー産業の中小企業グループ等で構成する調査チームやミッション団を派遣し、官民協議の実施や現地調査等を通じて現地の具体的環境課題を収集し、ビジネスベースでの受注獲得に向けたプロジェクト組成を行う。

調査チーム・ミッション団派遣に当たっては、マネージャー、現地コーディネーター等が事前に現地調査を行い、参加企業と海外ニーズとのビジネスマッチングの精度をあげ、九州企業の海外へのビジネス展開や環境プロジェクト参画の機会を創出する。

○時期：未定

○対象国：マレーシア、ベトナム、台湾等

○参加者：ASEAN 等進出を志向する企業等

③ アジア環境エネルギービジネスセミナー開催

海外に拠点を有する産業支援機関やビジネスコーディネーター等を交えて、ASEAN、東アジア地域のビジネス環境エネルギー分野の政策や市場動向等、実務に直結したセミナー及び意見交換の開催を通じて、関連企業に情報面の支援を行うとともに、新規の海外ビジネス展開案件の発掘や海外プロジェクト形成の足がかりを作り、企業間交流及びネットワークの拡大を図る。

④ 個別プロジェクト支援

(i) 専門家派遣事業等による個別支援 ※再掲

外部資金（技術開発補助金、F/S 調査、設備投資支援事業、海外展開関係補助金、JICA・JETRO 事業等）を活用したサポートを行うとともに、技術開発、海外展開、法律、知財、経営、金融、マーケティング等の相談に対応する専門家と提携し、企業の課題や相談に応じて適切な支援を行う。

また、必要に応じてターゲット分野の専門家や関係する支援機関のコーディネーター等と提携し、不足リソースの補完やパートナー企業の発掘等を支援する。

これらの取組により、K-RIP から地域の中核となりうる企業（候補）を連鎖的に創出する。

4. その他

(1) マネージャー、コーディネーター配置等

環境・エネルギー関連企業等からの相談に応じ、九州地域内外の自治体・産業支援機関等と連携し、環境・エネルギービジネスの創出・事業化プロジェクト組成、新分野進出支援を行うための各種事業の企画運営等を行うマネージャー及びコーディネーターを配置する。

また、マネージャー及びコーディネーターの業務をサポートするため補助職員を配置する。

(2) 地域中核企業支援プロジェクト

経済産業省の委託事業である平成29年度「地域中核企業創出・支援事業（ハンズオン型）」に採択された「①アジア環境プロジェクト形成支援事業」、「②ウルトラファインバブル環境技術の新分野進出（一次産業分野等）について、K-RIPのネットワーク・ノウハウ等を活用し、新事業展開に向けた事業化戦略の立案/販路開拓等を支援するなど、同プロジェクトに参加する地域中核企業の更なる成長のための支援事業を行う。

また、次年度以降の新たな中核企業（候補）及びプロジェクトの発掘に取り組む。